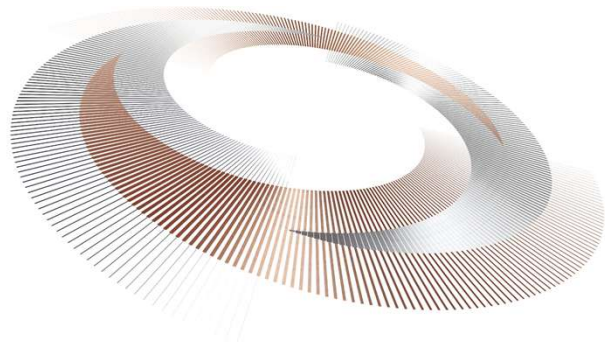


2026年3月期第2四半期決算補足説明資料

2025年11月11日



CEOの田中でございます。
本日は、弊社決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。
それでは、2026年3月期 第2四半期決算概要についてご説明申し上げます。
まずは、決算補足説明資料の4ページ、エグゼクティブサマリをご覧くださいいただければと存じます。



人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。

そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。

その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。

そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

目次

1.	エグゼクティブサマリ	P.4
2.	2026年3月期上期実績	P.6
3.	連結財政状態	P.9
4.	2026年3月期通期予想・前提条件	P.10
5.	キャッシュフロー	P.11
6.	参考情報	P.12

上期景況感 今後の見通し

- **自動車関連**：米国・中国は前年同期比で増加、日本・欧州は低迷
下期は、全主要地域で前年同期比で弱含み
- **半導体関連**：生成AI等のデータセンター向け需要は好調
下期も、同様の傾向継続の見込み
- **為替相場**：米国ドルは前年同期比円高（平均為替レート153→146円/\$）で推移
- **金属価格**：銅や金など金属価格は前年同期比で上昇

上期実績

前年同期比で減収減益

売上高 8,299億円 前年同期比 △1,596億円

- 貴金属スライム未入荷などに伴う、銅・貴金属地金の生産減により減収

営業利益 109億円 前年同期比 △166億円

- 為替差（原材料の在庫評価影響）、買鉱条件（TC/RC）悪化、銅・貴金属地金の生産減により減益

経常利益 167億円 前年同期比 △82億円

- 前年計上の為替差損の反動、持分法損益の増加などの増益要素があったものの、営業利益の減少が大きく減益

当期純利益 54億円 前年同期比 △191億円

- 前年計上のPT. Smelting持分法化に伴う持分変動利益の剥落、小名浜製錬の銅精鉱処理縮小決定に伴う減損損失の計上などにより減益

最初に景況感についてご説明いたします。

自動車関連市場は、米国および中国において販売台数は前年同期比で増加いたしましたが、欧州・日本では低迷となりました。下期は全主要地域において前年同期比で弱含みと見込んでおります。

半導体関連市場は、生成AIなどデータセンター向け需要が好調であり、下期も同様の傾向が継続すると見込んでおります。

為替相場は、米国ドルの平均レートが前年同期比で153円から146円の7円の円高で推移いたしました。金属価格は、銅や金など前年同期比で上昇いたしました。

次に第2四半期の実績でございます。

2026年3月期第2四半期実績は、前年同期比で減収、減益となりました。

売上高は、貴金属スライム未入荷などに伴う銅・貴金属地金の生産減により減収となりました。

営業利益は、金属事業における為替差による原材料の在庫評価影響、買鉱条件（TC/RC）の悪化、銅・貴金属地金の生産量減少などにより減益となりました。

経常利益は、前年計上の為替差損の反動、持分法損益の増加などの増益要素があったものの、営業利益の減少が大きく減益となりました。

純利益は、前年計上のPT. Smelting持分法化に伴う持分変動利益の剥落、小名浜製錬の銅精鉱処理縮小決定に伴う減損損失の計上などにより減益となりました。

通期業績 予想

通期業績予想は前回予想から減収・増益の見直しを行う。

- ・売上高：下期も貴金属スライムの未入荷が継続するため、前回予想から減収
- ・営業利益・経常利益：上期の実績及び為替、銅価格などの見直しで前回予想から増益
- ・当期純利益：抜本的構造改革推進に伴う追加費用を特別損失に織り込んだ結果、変更なし

主な前提条件の見直し（下期）

- ・ドル為替：140円/\$→145円/\$（通期：140円/\$→146円/\$）
- ・銅価格：425 ¢ /lb→435 ¢ /lb（通期：425 ¢ /lb→436 ¢ /lb）

売上高 15,900億円 前回予想比△2,800億円

営業利益 150億円 前回予想比+50億円

経常利益 430億円 前回予想比+100億円

当期純利益 200億円 変更なし

配当予想 年間100円/株 変更なし（中間配当は前回予想通りの50円/株に決定）

公表類

- ・「銅精鉱の購入・電気銅等の販売に係る事業の統合に関する基本合意書の締結について」（2025年11月11日公表、適時開示・プレスリリース）
- ・新中期経営戦略は、11月26日に公表予定

続いて、2026年3月期の通期業績及び配当予想でございます。

通期業績予想は上期の実績と為替、銅価格など足許の状況を踏まえた見直しなどを行い、5/14公表の
前回予想より減収・増益の見込みに変更いたします。

売上高は、貴金属スライムの未入荷が継続するものとして前回予想より減収を見込んでおります。

営業利益、経常利益は上期実績や為替・銅価格の見直しに伴い、前回予想より増益を見込んでおります。

当期純利益は、経常利益は増益予想となっておりますが、抜本的構造改革推進に伴う追加費用を特別
損失に織り込んだ結果、当期利益としては変更いたしません。

配当予想につきましても、一株あたり年間100円の予想に変更はございません。

主な前提条件として、ドル為替を下期145円に見直しております。銅価格は、足許の銅価格状況を踏
まえ435セントパーポンドとしております。

また、本日、「銅精鉱の購入・電気銅等の販売に係る事業の統合に関する基本合意書の締結につい
て」に関する適時開示及びプレスリリースをいたしました。

皆さまご承知の通り、銅製錬事業を取り巻く環境は、鉱山会社から買鉱条件（TC/RC）が大幅に悪化
しており、今後の見通しも不透明な状況となっております。そのような中、銅製錬事業の収益性を維
持・向上させるための取り組みとして、当該の銅精錬事業をパンパシフィック銅業社に統合する
ことに向けた具体的な協議・検討を開始することについて、基本合意をいたしました。今後、最終合
意に向けた協議・検討を進めてまいります。

本件に関し、今後新たに開示すべき事項が発生した際には、速やかにお知らせいたします。

加えまして、11月26日に新たな中期経営戦略の公表を予定しております。足許の景況感、今後の外部
環境の変化を踏まえ、当社が中長期的に成長するための全体像をお伝えできればと存じます。

続いて次ページ以降の上期実績の詳細は、CFOの平野よりご説明申し上げます。

2026年3月期上期実績（連結損益計算書）

- ・ 貴金属スライム未入荷などに伴う銅・貴金属地金の生産減、為替差（原材料の在庫評価影響）、買鉱条件（TC/RC）悪化などにより減収減益

（単位：億円）

		25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減	%
売上高		9,895	8,299	△1,596	△16.1%
営業利益		275	109	△166	△60.3%
受取配当金		11	24	+12	+106.8%
持分法損益		76	91	+14	+19.6%
経常利益		249	167	△82	△33.0%
特別損益		71	△77	△148	－
親会社株主に帰属する 当期純利益		246	54	△191	△77.8%
ドル為替	(円/\$)	153	146	△7	△4.3%
ユーロ為替	(円/€)	166	168	+2	+1.3%
銅価格	(¢/lb)	430	438	+8	+1.9%
金価格	(\$/oz)	2,407	3,367	+960	+39.9%
パラジウム価格	(\$/oz)	971	1,081	+110	+11.3%

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

6

平野でございます。よろしくお願い致します。

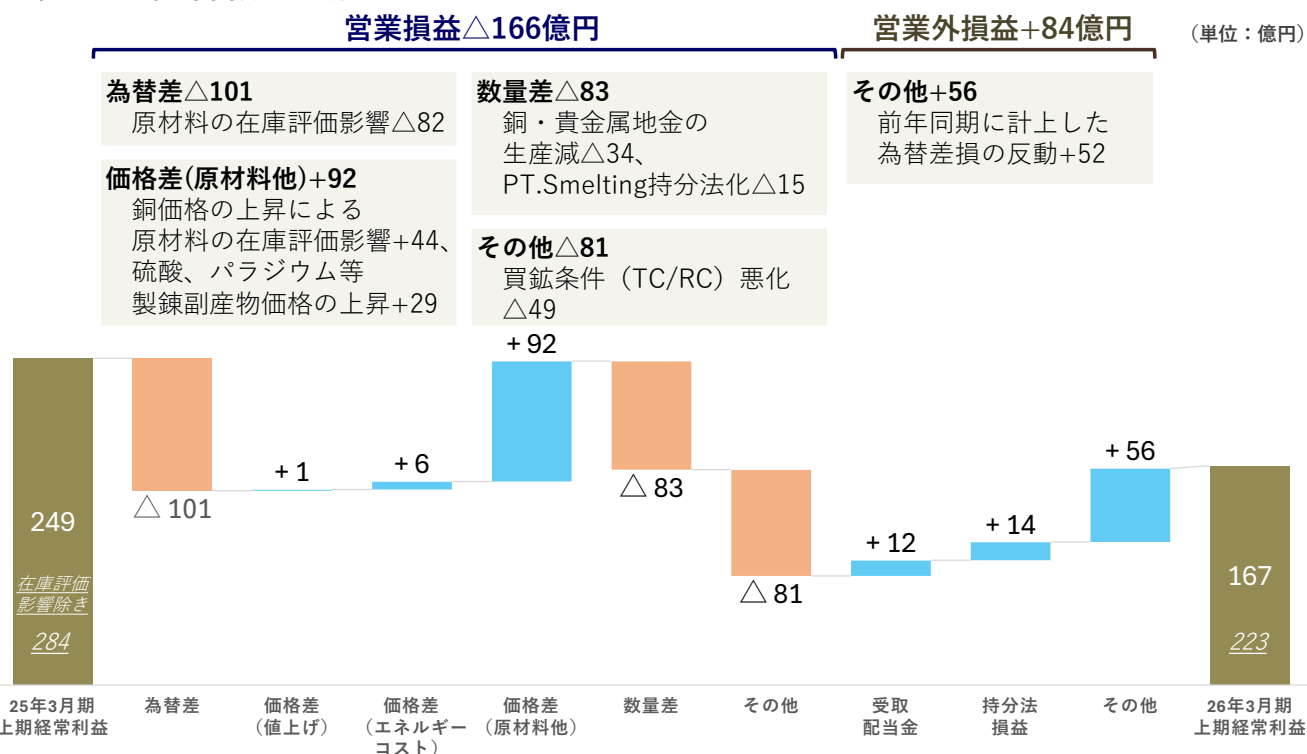
早速ですが、2026年3月期上期実績についてご説明申し上げます。

まず、冒頭の田中からのご説明のとおり、当上期は、貴金属スライムの未入荷に伴う貴金属地金の生産減、為替の円高推移による原材料在庫評価影響と、買鉱条件（TC/RC）の悪化などを主因として、前年同期比で減収、減益となりました。

この減益の背景につきましては、次ページの滝グラフで詳細をご説明いたしますので、資料7ページ目をご覧ください。

2026年3月期上期実績（利益増減要因内訳）

- ・ 為替差（原材料の在庫評価影響）、買鉱条件（TC/RC）悪化などを主因に営業利益及び経常利益共に前年同期比で減益



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

7

こちらは、当上期の経常利益を前年同期との比較で増減要因を整理したものです。

営業利益は109億円、前年同期比166億円の減益です。

まず、増益要因としては、「原材料他の価格差」であり、前年同期比でプラス92億円となりました。主な要因は銅加工事業において前年度に発生した在庫評価影響（43億円の損失計上）の剥落44億円に加え、金属事業での硫酸・パラジウム等の製錬副産物価格の上昇が29億円でした。

一方で、減益要因として最も大きかったのが、「為替差」で前年同期比101億円の減益でした。このうち金属事業において、前期に比べ円高となったことに伴う在庫評価影響が大半となる82億円を占めております。「数量差」としては、主に金属事業における銅・貴金属地金の生産減や、PT.Smelting社の昨年6月末での持分法適用への移行等により、前年同期比83億円の減益となりました。営業損益の「その他」のマイナス81億円には、TC/RCの悪化影響として約50億円の減益が含まれています。

また、経常利益は167億円、前年同期比では82億円の減益となりました。営業外損益項目だけを取り出した場合には、前年同期比で84億円の増益となります。これは、前年同期に計上した為替差損の反動に加え、エスコンディータ銅鉱山からの受取配当金の増加、マントベルデ銅鉱山などの持分法適用会社の収益改善などが増益要因となっております。

以上、上期実績を前年同期実績との比較においてご説明いたしましたが、5月に公表いたしました、期初業績予想との差異につきましても補足させていただきます。TC/RC悪化影響は、年間見通し132億円に対して、TC/RC悪化前の銅精鉱在庫の影響もあり、上期では約50億円にとどまりました。一方で下期は期初業績予想通りの減益要因となる見通しです。

期初業績予想において大きな減益要因としている「ヘッジを取りやめたことによる在庫評価影響」は、期初に想定していた前提条件に対して、銅価格の上昇、ドル円レートの円安基調継続により、上期までのところでは減益影響が小幅にとどまっております。その結果、営業利益は、上期実績が通期の業績予想上回る進捗となりました。

これらの内容は今回の通期業績予想修正の営業利益の上方修正要因として織り込んでいます。

なお、在庫評価影響により実態が見えにくくなっていると思われるので、今回より在庫評価影響を除く経常損益の額についても併記しております。

在庫評価影響を除く経常利益は、前年同期比61億円の減益であり、在庫評価影響を含む場合の82億円減益に対して20億円程度減益幅が小さくなります。

P21にセグメント毎、段階利益毎の原材料の在庫評価影響をまとめておりますので、詳細はそちらをご参照ください。続きまして、8ページをご覧ください。

2026年3月期上期実績（セグメント別利益概況）

- ・ **金属事業** 硫酸、パラジウム等製錬副産物価格が上昇したものの、為替差（原材料の在庫評価影響）、買鉱条件（TC/RC）悪化、銅・貴金属地金の生産減などにより減益
- ・ **銅加工事業** 銅価格の上昇による原材料の在庫評価影響などにより増益
（25年3月期上期：430¢/lb⇒26年3月期上期：438¢/lb）

（単位：億円）

		25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減	要因					
					為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他
金属	営業利益	224	11	△212	△88	+42	△66			△99
	経常利益	180	53	△127				+13	+25	△52
高機能	銅加工	営業利益	△14	20	+34	△1	+56	△1		△18
		経常利益	△34	2	+36			△0	-	△16
	電子材料	営業利益	9	7	△2	△1	△3	△0		+2
		経常利益	16	17	+1			+0	+4	+2
加工	営業利益	68	56	△12	△9	+4	+0			△7
	経常利益	63	43	△20				+0	+0	△16
再生可能 エネルギー	営業利益	16	1	△15	-	△0	△13			△1
	経常利益	18	△8	△26				-	△3	△9
その他	営業利益	21	20	△1	△0	-	△2			+1
	経常利益	89	83	△5				+0	△12	+8
合計 連結調整額等を含む	営業利益	275	109	△166	△101	+99	△83			△81
	経常利益	249	167	△82				+12	+14	△24

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

8

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

8

こちらは、当上期の実績をセグメント別に前年同期実績と対比したものです。

金属事業では、「価格差」として硫酸、パラジウム等製錬副産物価格が上昇し増益となったものの、「その他」として、買鉱条件（TC/RC）の悪化が、「為替差」として原材料の在庫評価影響が、「数量差」として銅・貴金属地金の生産減等があったことで営業利益が減少いたしました。

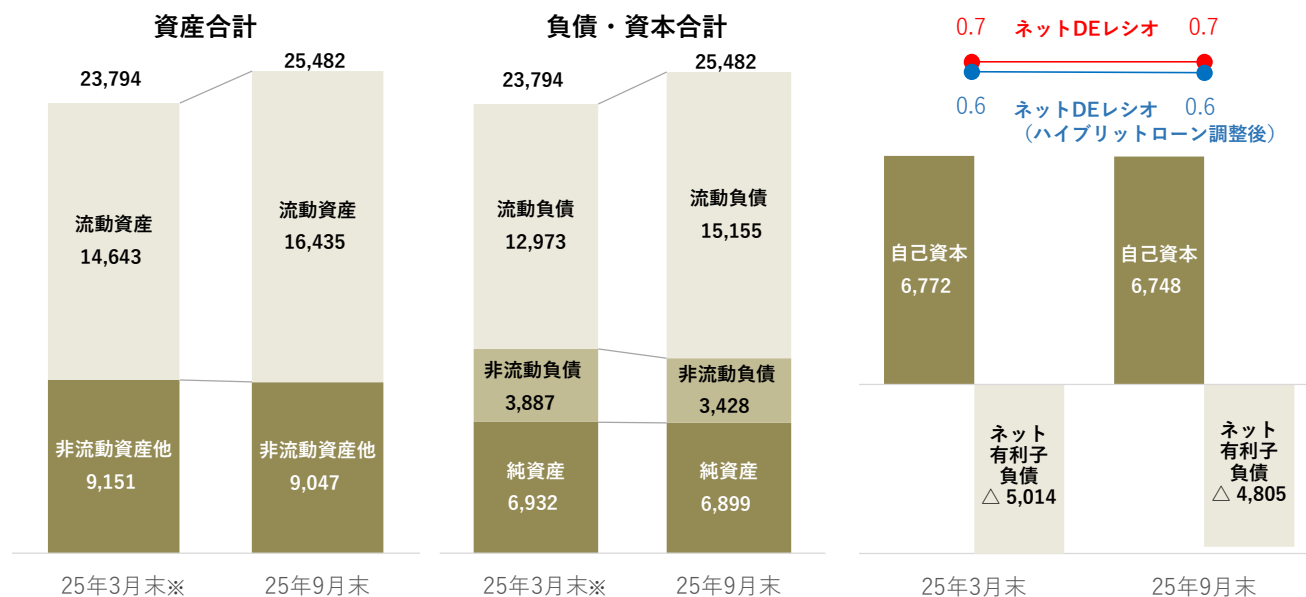
銅加工事業では、「価格差」に表れておりますが、銅価格が前年同期比で上昇したこと等を主因として営業利益が増加いたしました。

続きまして、9ページをご覧ください。

連結財政状態

- ・総資産は、金価格の上昇に伴い貸付金地金及び棚卸資産が増加したことなどにより増加
- ・ネットDEレシオは、25年3月末と同水準の0.7倍

(単位：億円)



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

9

連結財政状態です。2025年9月末時点の連結バランスシートにおいて、資産合計は2兆5,482億円であり、金価格の上昇に伴い、貸付金地金及び棚卸資産が増加したことで、2025年3月末比で総資産が1,688億円増加しました。

銅・貴金属・タングステンの中間材料であるAPTの価格が足許で上昇を続けていますが、在庫数量水準の適正化とキャッシュ・マネジメントにより有利子負債は3月末比で減少させることができおり、財務健全性を示す指標の一つであるネットDEレシオは、2025年9月末時点で2025年3月末と同水準の0.7倍となっております。

2026年3月期通期予想・前提条件

- ・ **売上高**：貴金属スライム未入荷の継続などにより前回予想から減収
- ・ **営業利益・経常利益**：上期実績に加え、為替の想定レート・銅価格の前提条件見直しなどにより前回予想から増益
- ・ **当期純利益**：抜本的構造改革推進による追加費用を特別損失に織り込み、前回予想から変更なし

(単位：億円)

	前回 通期予想	今回 通期予想	増減
売上高	18,700	15,900	△2,800
営業利益	100	150	+50
受取配当金	208	223	+15
持分法損益	213	210	△2
経常利益	330	430	+100
特別損益	△50	△150	△100
親会社株主に帰属 する当期純利益	200	200	－

ROIC (%)	2.8	3.5	+0.7
ROE (%)	2.8	3.0	+0.2

為替・金属価格		前回 通期予想	今回 通期予想	増減
ドル為替	(円/\$)	140	146	+6
ユーロ為替	(円/€)	160	169	+9
銅価格	(¢/lb)	425	436	+11
金価格	(\$/oz)	2,700	3,284	+584
パラジウム価格	(\$/oz)	1,000	1,053	+53

感応度*		下期 影響額
ドル為替	営業利益±1円/\$	4.8
ユーロ為替	営業利益±1円/€	0.6
銅価格	(a)営業利益±10¢/lb	0.9
	(b)営業外損益±10¢/lb	0.5
	(a+b)経常利益±10¢/lb	1.4

*：感応度に在庫評価影響は含んでおりません。

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

10

続くp.10には、今回2026年3月期の通期業績予想を見直しておりますので、予想数値と前提条件をお示ししています。

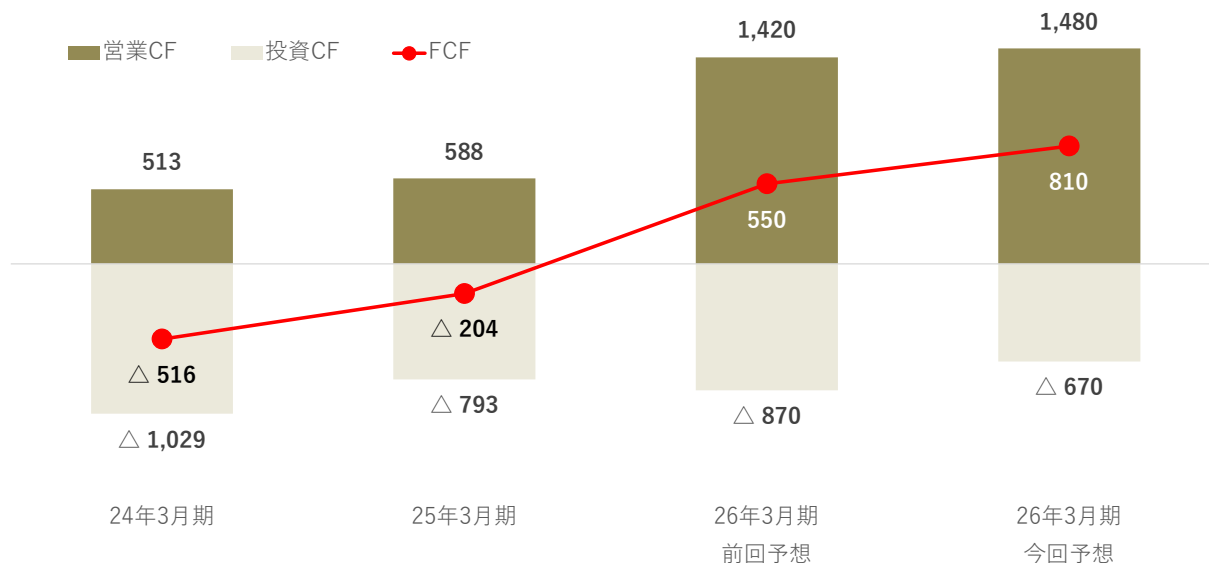
連結全体の予想数値・修正内容・修正理由につきましては、冒頭の田中の説明、7ページのところで説明との重複を避けるため割愛しますが、セグメント別では、「金属事業」、「銅加工事業」、「加工事業」において数量差で、前回予想から減益を見込むものの、為替差や価格差などの上振れ見通しが数量の下振れ見通しを上回ることから前回予想から増益、「電子材料事業」は数量差の下振れにより前回予想から減益の見込みとなっております。

セグメント別、要因別予想修正額につきましては、p.13からp.16にまとめておりますので、詳細はそちらをご参照ください。

キャッシュフロー

- ・ 上期実績、為替の想定レート・銅価格の前提条件見直し等を考慮し、営業CFは概ね期初計画通り
- ・ 投資案件の見直しにより投資CFが減少し、FCFは810億円となる見込み（前回予想比+260億円）

（単位：億円）



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

11

2026年3月期の営業キャッシュフローは、1,480億円と概ね前回予想通りの見込みです。これに対し、投資キャッシュフローについては、投資案件の見直しなどによる減少を見込んでおり、その結果、2026年3月期のフリーキャッシュフローは、前回予想から260億円増加の810億円を見込んでおります。

私からのご説明は以上でございます。

参考情報

セグメント概況（金属事業）

- **上期実績**：為替差（原材料の在庫評価影響）、買鉱条件（TC/RC）悪化、銅・貴金属地金の生産減などにより、経常利益は53億円（前年同期比△127億円）
- **通期予想**：銅・貴金属地金の生産減により減収も、為替の想定レート見直し、金属の実収効率の改善などにより、経常利益は271億円（前回予想比+102億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減
売上高	7,324	5,479	△1,845
営業利益 在庫評価影響除き	224 <u>197</u>	11 <u>66</u>	△212 <u>△131</u>
経常利益 在庫評価影響除き	180 <u>172</u>	53 <u>111</u>	△127 <u>△61</u>

前回 通期予想	今回 通期予想	増減
12,718	10,075	△2,643
△58	12	+71
168	271	+102

25年3月期上期経常利益実績	180
為替差	△88
価格差	+42
数量差	△66
受取配当金	+13
持分法損益	+25
その他	△52
26年3月期上期経常利益実績	53

26年3月期通期経常利益前回予想	168
為替差	+90
価格差	+33
数量差	△42
受取配当金	+15
持分法損益	△3
その他	+10
26年3月期通期経常利益今回予想	271

セグメント概況（銅加工事業）

- **上期実績**：銅価格の上昇（25年3月期上期：430¢/lb⇒26年3月期上期：438¢/lb）による原材料の在庫評価影響などにより、経常利益は2億円（前年同期比+36億円）
- **通期予想**：銅価格の前提条件見直し（前回通期予想：425¢/lb⇒今回通期予想：436¢/lb）などにより、経常利益は34億円（前回予想比+7億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減
売上高	2,229	2,236	+7
営業利益 在庫評価影響除き	△14 28	20 18	+34 △10
経常利益 在庫評価影響除き	△34 8	2 △0	+36 △8

前回 通期予想	今回 通期予想	増減
4,702	4,708	+5
73	71	△1
26	34	+7

25年3月期上期経常利益実績	△34
為替差	△1
価格差	+56
数量差	△1
受取配当金	△0
持分法損益	－
その他	△16
26年3月期上期経常利益実績	2

26年3月期通期経常利益前回予想	26
為替差	+0
価格差	+30
数量差	△20
受取配当金	△0
持分法損益	－
その他	△3
26年3月期通期経常利益今回予想	34

セグメント概況（電子材料事業）

- **上期実績**：電子デバイス、精密実装材料の販売が好調だった一方、シール製品の販売数量減少などにより、経常利益は17億円（前年同期比+1億円）
- **通期予想**：シール製品、シリコン精密加工品を中心とした販売数量減少などにより、経常利益は26億円（前回予想比△27億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減
売上高	388	418	+30
営業利益	9	7	△2
経常利益	16	17	+1

前回 通期予想	今回 通期予想	増減
882	808	△74
40	10	△30
53	26	△27

25年3月期上期経常利益実績	16
為替差	△1
価格差	△3
数量差	△0
受取配当金	+0
持分法損益	+4
その他	+2
26年3月期上期経常利益実績	17

26年3月期通期経常利益前回予想	53
為替差	+2
価格差	+4
数量差	△50
受取配当金	△0
持分法損益	+5
その他	+11
26年3月期通期経常利益今回予想	26

セグメント概況（加工事業）

- **上期実績**：H.C.Starck社の連結子会社化に伴い増収も、支払利息の増加などにより、経常利益は43億円（前年同期比△20億円）
- **通期予想**：自動車向けの販売数量減少も、値上げや固定費削減などにより、経常利益は88億円（前回予想比+5億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減
売上高	746	1,070	+323
営業利益	68	56	△12
経常利益	63	43	△20

前回 通期予想	今回 通期予想	増減
2,145	2,210	+64
97	105	+7
83	88	+5

25年3月期上期経常利益実績	63
為替差	△9
価格差	+4
数量差	+0
受取配当金	+0
持分法損益	+0
その他	△16
26年3月期上期経常利益実績	43

26年3月期通期経常利益前回予想	83
為替差	+6
価格差	+17
数量差	△39
受取配当金	+0
持分法損益	+1
その他	+19
26年3月期通期経常利益今回予想	88

UBE三菱セメント社概況

■UBE三菱セメント社連結損益計算書（単位：億円）

項目		25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	26年3月期 通期予想
売上高	国内事業	1,885	1,795	3,710 (3,800)
	海外事業	1,002	879	1,690 (1,900)
	計	2,887	2,675	5,400 (5,700)
営業利益	国内事業	77	90	240 (220)
	海外事業	199	164	270 (300)
	計	277	255	510 (520)
経常利益		286	271	510 (520)
親会社株主に帰属する 純利益		155	130	260 (280)

()は2025年5月12日に発表した予想

■当社持分法投資損益

持分法投資損益	72	60	125
---------	----	----	-----

■UBE三菱セメント社諸元

項目		25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	26年3月期 通期予想
セメント (国内総需要)	万 t	1,634	1,535	3,100 (3,200)
セメント (国内)販売数量	万 t	387	375	748 (775)
セメント (米国)販売数量	万 st	84	81	158 (170)
生コン (米国)販売数量	万 cy	349	313	583 (670)
一般炭価格 (参考指標)	\$/ t	138	105	112 (150)
ドル為替	円/\$	153	146	148 (145)

※上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 25年9月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	8,065	有利子負債	1,894	自己資本	3,548
自己資本比率	44.0%	ネットD/Eレシオ	0.30倍		

- ・ **国内事業**：1Qでの電力事業における定修影響等の減益はあるものの、セメント値上げや熱エネコスト低下の効果により、上期の国内事業全体では減収増益。25年度通期においても、セメントの販売数量減・価格改善の傾向が継続する見通しであり、対前年で減収増益を見込む。
- ・ **海外事業**：米国事業は、1Qの減益に加え、引き続き域内需要が弱含みで推移したことにより上期で減収減益。豪州石炭事業は、販売価格下落の影響により、上期で減収減益となった。25年度通期においても、上期と同様の事業環境が続く見通しであり、対前年で減収減益を見込む。

四半期業績の推移 セグメント別

(単位：億円)

項目		25年3月期							26年3月期				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期予想	通期予想
金属	売上高	3,900	3,424	7,324	3,625	3,385	7,011	14,336	2,887	2,591	5,479	4,596	10,075
	営業利益	88	136	224	△1	8	7	231	△68	79	11	1	12
	経常利益	121	58	180	237	△6	231	411	△54	107	53	217	271
高機能製品*	売上高	1,323	1,288	2,612	1,243	1,248	2,491	5,103	1,301	1,317	2,619	2,841	5,460
	営業利益	23	△33	△10	35	31	66	56	1	22	24	53	77
	経常利益	20	△43	△23	31	23	54	31	△1	18	16	38	55
銅加工	売上高	1,130	1,098	2,229	1,049	1,057	2,107	4,336	1,103	1,133	2,236	2,471	4,708
	営業利益	17	△32	△14	19	25	45	30	△2	22	20	51	71
	経常利益	8	△42	△34	10	13	23	△10	△9	11	2	32	34
電子材料	売上高	198	189	388	196	194	390	779	216	201	418	390	808
	営業利益	7	1	9	15	8	23	32	5	1	7	3	10
	経常利益	14	1	16	20	12	33	49	9	8	17	8	26
加工	売上高	381	364	746	363	378	741	1,488	529	540	1,070	1,140	2,210
	営業利益	29	38	68	0	20	20	88	30	25	56	48	105
	経常利益	34	28	63	3	18	21	85	23	20	43	45	88
再生可能エネルギー	売上高	23	21	45	18	19	38	83	13	8	22	38	60
	営業利益	9	7	16	3	3	6	23	3	△2	1	4	6
	経常利益	12	5	18	4	3	7	26	1	△9	△8	11	3
その他	売上高	350	376	727	406	443	849	1,576	344	345	690	627	1,317
	営業利益	6	15	21	17	15	32	54	5	15	20	5	25
	経常利益	40	49	89	58	37	95	185	38	45	83	64	148
調整額	売上高	△842	△717	△1,559	△716	△691	△1,407	△2,967	△764	△818	△1,582	△1,641	△3,224
	営業利益	△28	△16	△45	△8	△30	△38	△83	0	△5	△4	△72	△77
	経常利益	△43	△35	△79	△16	△41	△58	△137	△8	△13	△22	△114	△136
合計	売上高	5,137	4,758	9,895	4,941	4,783	9,724	19,620	4,314	3,985	8,299	7,600	15,900
	営業利益	128	147	275	47	48	95	371	△26	135	109	40	150
	経常利益	186	62	249	319	33	353	602	△1	168	167	262	430

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved. * 高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載

諸元

主要製品の生産・販売動向

項目			25年3月期							26年3月期				
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期予想	通期予想
電気銅	生産量	千 t	112	102	214	98	85	183	398	81	101	181	184	365
	販売量	千 t	102	93	195	88	79	167	362	77	89	166	186	351
金	生産量	t	9	9	19	10	10	19	38	4	4	8	9	17
	販売量	t	9	9	19	10	10	19	38	4	4	8	9	16
銀	生産量	t	81	75	156	69	75	144	301	49	53	102	106	208
	販売量	t	82	74	156	69	76	145	302	47	55	102	102	204
伸銅品	販売量	千 t	29	29	58	31	29	60	117	31	31	62	66	127

鉱山配当額の推移

項目			25年3月期							26年3月期				
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期予想	通期予想
Los Pelambres	配当額	億円	－	－	－	137	22	160	160	－	－	－	165	165
Escondida	配当額	億円	8	－	8	27	－	27	36	22	－	22	18	41
鉱山配当額計	配当額	億円	8	－	8	164	22	187	196	22	－	22	184	207

金属価格・為替の推移

項目			25年3月期							26年3月期				
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期予想	通期予想
ドル為替レート	円/\$		156	149	153	152	153	153	153	145	147	146	145	146
ユーロ為替レート	円/€		168	164	166	163	161	162	163	164	172	168	170	169
銅価格(LME)	¢/lb		442	417	430	416	424	420	425	432	444	438	435	436
金価格	\$/oz		2,338	2,476	2,407	2,662	2,862	2,762	2,585	3,280	3,454	3,367	3,200	3,284
パラジウム価格	\$/oz		972	970	971	1,011	961	986	979	990	1,171	1,081	1,000	1,053

持分法投資損益内訳

(単位：億円)

会社名	当社持分	25年3月期							26年3月期				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期予想	通期予想
Copper Mountain Mine(BC)Ltd. *	25%	0	△6	△6	0	△3	△2	△8	△3	4	0	—	0
Mantoverde S.A.	30%	△2	△4	△6	6	3	10	3	3	3	7	24	32
PT.Smelting	34%	△0	5	4	2	3	6	11	3	2	6	6	12
関西リサイクルシステムズ	41.4%	1	1	3	1	1	2	5	1	1	3	2	5
フジクラダイヤケーブル	22%	3	0	4	3	3	7	11	3	4	8	5	13
湯沢地熱	30%	3	△0	3	2	1	4	7	1	△1	0	4	4
UBE三菱セメント	50%	36	36	72	43	25	68	140	29	30	60	64	125
その他		2	△0	1	1	1	2	4	2	2	5	10	15
合計		45	31	76	63	36	99	175	42	49	91	118	210

* 2025年4月30日付にて権益売却済み

原材料の在庫評価影響

(単位：億円)

項目		25年3月期							26年3月期		
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期
金属	営業利益	88	136	224	△1	8	7	231	△68	79	11
	在庫評価影響	63	△37	27	△30	7	△23	4	△44	△10	△55
	在庫評価影響を除く営業利益	25	173	197	29	1	30	227	△24	89	66
	経常利益	121	58	180	237	△6	231	411	△54	107	53
	在庫評価影響	66	△59	8	△24	5	△19	△11	△50	△9	△58
	在庫評価影響を除く経常利益	55	117	172	261	△11	250	422	△4	116	111
銅加工	営業利益	17	△32	△14	19	25	45	30	△2	22	20
	在庫評価影響	2	△44	△42	10	14	24	△18	△6	8	2
	在庫評価影響を除く営業利益	15	12	28	9	11	20	48	4	14	18
	経常利益	8	△42	△34	10	13	23	△10	△9	11	2
	在庫評価影響	2	△44	△42	10	13	24	△18	△6	8	2
	在庫評価影響を除く経常利益	6	2	8	△0	△1	0	8	△3	3	△0
全社 合計	営業利益	128	147	275	47	48	95	371	△26	135	109
	在庫評価影響	65	△81	△15	△20	21	1	△14	△51	△2	△53
	在庫評価影響を除く営業利益	63	228	290	67	27	95	385	25	137	162
	経常利益	186	62	249	319	33	353	602	△1	168	167
	在庫評価影響	68	△103	△35	△14	19	5	△29	△56	△0	△56
	在庫評価影響を除く経常利益	118	165	284	333	14	348	631	55	168	223

お問合せ先

三菱マテリアル株式会社
IR室

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

ml-mmccir@mmc.co.jp

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

<お知らせ>

最新の適時開示など、当社IRに関する情報のメール配信サービスをご希望の方は、
以下のURLからご登録ください

<https://ir.mmc.co.jp/ja/ir/irmail.html>

<免責事項>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。
実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。
本資料に掲載されている内容・写真・図表などの無断転載を禁止します。